

2010年 3月 10日

島根大学長 殿

研究者名 (代表者名)

顧 沛雯 印

2009年度研究奨励助成 研究報告書

研究分野	(該当する分野を○で囲んでください。)	
	1. 寧夏南部山区と日本の中山間地域の持続的可能な発展に関する研究	
	② 生態系・環境の保護と再生に関する調査研究	
	3. 農業経済と社会発展の比較に関する調査研究	
研究者の連絡先		
実施期間	2009年3月 ～ 2010年1月	
<p>研究の実績・成果の概要</p> <p>2009年3月：寧夏大学農学院植物病理実験室は、2008年10月に採取した野生の苦豆子（採取地点：寧夏寧東エネルギー化学工業基地）の種子を剥離し、病気や虫、殻だけのものを取り除き、光沢があり丸く滑らかな種子を分別した。</p> <p>2009年4～5月：苦豆子の種子内にある内生菌を分離した。分離したのは内生細菌327株、内生真菌61株、内生放線菌36株である。</p> <p>2009年6月：塩池県（6月18～19日）、紅寺堡（6月23～24日）、高沙窩（6月27日）等において野生及び人工の苦豆子と甘草の株を採取し、実験室にて内生菌分離を行った。分離したのは内生細菌210株、内生真菌29株、内生放線菌47株である。</p> <p>2009年7月：寧夏大学農学院植物病理室にて、菌種の純化・鑑定・保存を行った。鑑定した内生細菌は36種、内生放線菌は13種である。</p> <p>2009年8月：夏休み期間中の8月8日、中国植物病理学会2009年学術年会に参加した。会議は4日間で、雲南省昆明で行われた。この期間中に、生物多様性に関するテーマ討論に参加した。会議終了後、生態視察を3日行った。</p> <p>2009年9月：寧夏大学農学院植物病理実験室は、拮抗細菌の選別を行った。選別された拮抗性の高い菌株は4株で、そのうち1株に対して二次的代謝物の初期研究を行った。9月23日、寧東エネルギー化学工業基地にて沙冬青の標本を採取し、内生菌分離を行った。</p> <p>2009年10月：菌種の純化・保存を行った。10月27日に寧夏白芨灘などで苦豆子種子の採取を行った。実験室にて苦豆子種子を剥離し、病気や虫、殻だけのものを取り除き、種子の分別を行った。</p> <p>2009年11～12月：拮抗放線菌の選別と二次的代謝物の研究</p> <p>2010年1月：菌種の純化・保存</p>		
区分	金額 (単位：円)	備考
1. 物品費	0	
2. 消耗品費	18,893.7	実験用薬剤
3. 謝金等	86,927.6	資料収集、実験労務等
4. 旅費・滞在費	40,973.7	調査、学会参加
5. その他	53,204.9	訓練費、資料費
計	200,000	